

基本政策 1 人が集う（ふれあう）場が確保されている

【基本政策の方向性】

心のやすらぎを感じられ、人と人とが集い、ふれあえる場として活用できる公園・緑地が確保されている“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「公園・緑地の空間の増設」

子育て世帯をはじめとした多くの人たちが、心のやすらぎを感じられるよう、特色ある公園の維持、発展や緑地の整備など、公園・緑地の空間の増設を目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
公園の整備・緑化の推進の満足度の向上（市民意識調査）	63.1%（R1）	⇒ 66.0%（R7）

基本施策

1－1 水と緑の空間の創出

本市の貴重な自然環境を次世代につなぎ、観光資源として地域の活性化を促進するため、自然豊かな環境を保全し、憩いの場として活用できる水と緑の空間の創出を目指します。

【KPI】	現状値	目標値
湧水と緑の回廊整備	—	⇒ 1ヶ所（R7）

【主な取組】 湧水の活用

湧水と緑地が特に多く点在する富士見江川沿いの湧水地などを保全し、市民が気軽にふれあえ、自然と歴史の学びの場となる地域資源として活用していきます。

【KSF】	現状値	目標値
自然学習会の実施	—	⇒ 1回/年（R7） ※回廊整備後実施予定

1-2 新たな交流拠点の整備

すべての世代が憩い、楽しめる空間形成を目指し、「水辺空間の活用・創出」、「自然を活用した体験の場の創出」、「地域の魅力向上・活性化」を基本的な考えとした新たな交流拠点の整備を進めます。

【KPI】	現状値	目標値
来場者数目標	— ⇒	50,000 人/年

【主な取組】 びん沼自然公園の整備

豊かな自然の中での活動を促進するパークゴルフ場の整備、公園のシンボルとなる展望台など、地域や企業などとも連携しながら魅力あるびん沼自然公園の整備に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
びん沼自然公園の整備の完了	— ⇒	令和3年度末予定

1-3 公園の整備・維持管理

公園不足地域における公園用地の確保や、誰もが、安全安心に公園の利用ができるよう、市民とともに防災面などにも配慮した適切な公園の整備と維持管理を進めていきます。

【KPI】	現状値	目標値
住民一人当たりの公園面積	3.68 m ² /人 (R1) ⇒	3.74 m ² /人 (R7)

【主な取組】 施設・遊具の適正な維持管理

誰もが安全で安心して公園を利用できるよう、施設・遊具の安全点検実施の充実を図り、適正に維持管理を行います。

【KSF】	現状値	目標値
施設保守点検の実施	実施 ⇒	継続 (R7)

関連する SDG s ゴール



身近な自然である湧水などを保全することで、環境破壊等環境上の悪影響を軽減させ、次世代にこの自然をつないでいきます。 関連ターゲット (11-4、11-6)



身近な自然である湧水などを市民が気軽に触れることのできるものとして活用するとともに、次世代へこの貴重な自然を引き継いでいきます。 関連ターゲット (12-8)



生物多様性と生態系を保全しながら、自然と調和した新たな交流拠点となるようびん沼自然公園の整備を進めます 関連ターゲット (15-a)

関連計画等

富士見市都市計画マスタープラン (令和3年度～令和22年度)

関連部署

まちづくり推進部 まちづくり推進課